

## Lesson 2 ファインダーを覗いてみよう

# 2

コンパクトデジカメのときはモニターを見ながらの撮影でしたが、デジタル一眼はファインダーを覗きながら撮影します。ファインダーを通して見る世界は、肉眼で見る世界とちょっと違います。



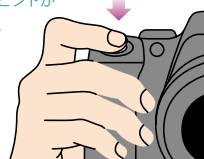
### ファインダーを覗いてピントを合わせてみる

何でもいので撮るものを決めて、カメラを向けたらシャッターボタンを半押ししましょう。ピントが合ったことを自分の目で確認できたはずですが、もし、ピントが合っているはずなのに、ファインダー内がはっきり見えないときは視度調整つまみを回して自分の視力に合わせてみましょう。

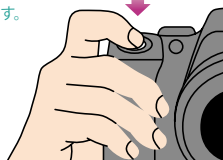
#### ●撮影の基本は半押しで

シャッターボタンはシャッターを切るためのボタンではありません。シャッターボタンを半押しすると、カメラがピントを合わせ、適切な明るさになるように調整してくれるのです。撮るものが決まったら、まず半押しして、それからゆっくり押し切るというクセをつけましょう。

半押しでピントが合います。



押し切るとシャッターが切れます。



## 画角の違いを知りましょう

いま、このカメラについているのは「ズームレンズ」です。レンズには「18-55mm」と書いてあります。これは18ミリのワイド（広角）から55ミリのテレ（望遠）まで撮れるということです。ズームリングを回転させると画角（写真に写る範囲）を変えることができます。



## 同じ位置から画角を変えて 部屋を覗いてみると…

### 18mm

#### 部屋がとても広く見えます

ワイド（広角）は広い景色をより広く狭い部屋なども広く写すことができます。



### 55mm

#### テーブルがグッと近づきました

テレ（望遠）は遠くのを大きく写せます。望遠鏡で覗いた感じだと思えばいいでしょう。



### 35mm

#### 落ち着いて見えます

中間の画角は主役と背景の比率がバランスよく写せます。もっとも扱いやすい画角かもしれません。

※ EOS Kiss の APS-C サイズで説明しています。詳細は P92 参照。